

事業番号	事務事業名	貯木場整備事業	所管課名	産業観光課	令和 2 年度課長名	小椋 正己
04122	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	林務係	担当者・シート作成者	阿部 良文
	施策名	22 林業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (1 年度~ 4 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	町産材の利用拡大を図ることを目的とした貯木場整備のための詳細調査設計(用地造成)を実施。	町産材の利用拡大を図るべく、鏡野町森林づくり協議会で協議され、木材価格の変動等に対応し、町産材の安定供給を行うには木材集積基地(貯木場)の整備が必要であるとの提言があり、貯木場整備事業を開始。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 町内の林業事業体	→ ア 岡山県認定林業事業体	社	見込 実績		5 5	5 5	5 5	5 5
イ 町内の林業従事者	→ イ 林業従事者数	人	見込 実績		73 106	72 106	72 72	72 72
ウ	→ ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 町産材の利用拡大	→ ア 素材生産高	千円	目標 実績 達成率		182,000 219,501 120.6%	196,000 197,532 100.8%	190,000 190,000 100.0%	195,000 195,000 101.3%
イ	→ イ		目標 実績 達成率					
ウ	→ ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 委託契約	→ ア 委託契約数	件	目標 実績 達成率		1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%
イ	→ イ		目標 実績 達成率					
ウ	→ ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01	款 06	項 02	目 03	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号																	
	一般会計	農林水産業費	林業費	林業施設費	51	04	貯木場整備事業	04122																	
予算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比	決算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比												
国庫支出金							国庫支出金																		
県支出金							県支出金																		
町債				74,000			町債				74,000														
その他特財				51,419			その他特財				51,419														
一般財源		3,465	3,817	7,153		352	一般財源		2,145	3,817	7,153		1,672												
合計		3,465	3,817	132,572		352	合計(A)		2,145	3,817	132,572		1,672												
財源名称	従事正職員人数								1	2	2		1												
	延べ業務事務時間								10	60	60		50												
	人件費計(千円)(B)								35	201	201		166												
最終予算額		3,817 千円		予算執行率		100.0%		トータルコスト(A+B)		2,180		4,018		132,773		1,838									
主な 支出事業内容 (予算)	委託料						3,817 千円						主な 支出事業内容 (決算)	委託料						3,817 千円					

事業番号	04122	事務事業名	貯木場整備事業	所管課名	産業観光課
------	-------	-------	---------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
木材価格の下落や担い手不足により町産材を含む木材生産量が減少し、町産材の安定供給に支障がある。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
令和元年度より開始。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
鏡野町森林づくり協議会からの提言や林業事業者からの貯木場整備の要望がある。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	町産材の利用拡大・安定供給には、貯木場整備が不可欠であり、町の政策体系に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	木材価格の低迷し、森林所有者の経営意欲が低下している状況では、町が事業主体で実施する必要がある。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	貯木場整備を行うことにより、認定林業事業者、林業従事者、素材生産高に大きく関係するため妥当である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	貯木場整備を行うことにより、素材生産高は増加する。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	貯木場が整備されなければ、町産材の安定供給や需要拡大に大きく影響する。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	貯木場整備の詳細調査設計であるため、改善の余地はない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	貯木場整備の詳細調査設計であるため、削減の余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	貯木場整備の詳細調査設計であるため、最低限の業務時間であり、削減の余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	貯木場整備は、町産材の利用拡大、安定供給のために町が率先して行う必要があり、公平である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	貯木場整備は、町産材の利用拡大、安定供給のためにも必要であり、林業の底上げに資することから公益性も高い。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 貯木場整備は、今後、管理棟外の詳細設計い、用地造成工事を行う予定であり、コストと成果を検討しながら整備を進める必要がある。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								